

教科 名	理科	科 目 名	化学 I	履修クラス	2年全クラス	
				担 当 者	関 朗彦	
使用教科書		「高等学校 化学 I 改訂版」啓林館			履修単位数	2
副教材等		「フォトサイエンス化学図録」数研出版、「基本セレクト 化学 I」数研出版				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
化学的な事物・現象に関する基本的な原理・法則を理解し、探究する方法を身につけることを目的とする。酸化還元、有機化合物の性質を中心に学習する。探求の実施としては、酸化と還元に関する実験等を実施する予定である。	定期考査・小テスト・実験レポートおよび授業の取り組み状況・出欠状況を総合的に判断する。

年 間 授 業 計 画			
月	予定 時数	単 元	学 習 内 容 ・ 学 習 活 動
4	中間 考査 まで 1 2	酸化と還元	酸化還元反応 酸化と還元 酸化剤と還元剤
5			
6	期 末 考 査 ま で 1 4	酸化と還元	金属の酸化還元反応 電池 電気分解
7			
9	中 間 考 査 ま で 1 4	有機化合物	有機化合物の特徴と構造 有機化合物の特徴と分類 有機化合物の分析
10			
11	期 末 考 査 ま で 1 4	有機化合物	脂肪族炭化水素 飽和炭化水素 不飽和炭化水素
12			
1	学 期 末 考 査 ま で 1 6	有機化合物	酸素を含む脂肪族炭化水素 芳香族化合物
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
1年次の理科総合Aに比べ、より専門的な内容になるので、そのつもりで取り組んで欲しい。 1年同様に、授業の開始前に教科書など授業に必要なものを揃え、集中して受講してすること。酸化と還元の単元では、電子の動きを考えて酸化還元反応が理解できるようにして欲しい。また、有機化合物の範囲では授業の内容を自分なりにまとめる方法も有効だろう。家庭学習では、基本事項の整理・問題演習を行うとよい。また、レポートも単位修得の上で重要なので、しっかり取り組むこと。